

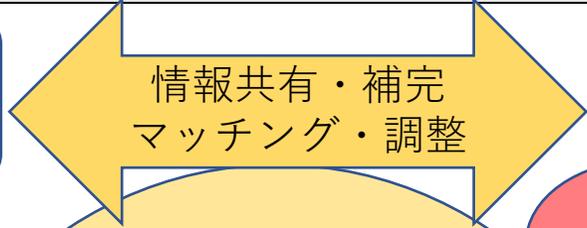
コロナ禍対応「NPOおたがいさま会議」の開催について

活動の2本柱

- ① コロナ禍によるNPOの困りごとに対する情報共有と可能な限り互いに補完し合う機能
- ② コロナ禍の影響下において、災害が発生した場合の事前準備機能（※特に「避難所対応」は喫緊課題として）

NPOが抱えるニーズ（困りごと）

- 資金繰りが厳しいため支援制度が知りたい
- 生活困窮者のための支援物資が足りない
- 税金の減免や納付期限はどうなっているか
- 子どもたちのストレスを発散させる有効な対処方法を考えてい
- 今災害が起こったら、どうすればいいのか
- 今まで通り支援に出向いてもいいのか
- 感染症への対応を正しく学びたい
- 避難所での物資はどう確保すればいいのか
- 災害時要配慮者への対応が心配だ



多様なセクターからのシーズ（応援できること）

これらを
情報発信

- 自分たちのノウハウを共有できます（NPO）
- 支援制度や税に関する勉強会を開催できます（税理士・司法書士）
- 全国のNPOによる参考情報を紹介できます（中間支援NPO）
- 物品や資金の提供ができます（企業）
- 「災害時のボランティア・NPOの対応ガイドライン」・「避難所サポートブック」の公表と勉強会の開催
- 避難所で必要となる物資・備品を募集（募集品は別途記載、手作りシールドなども歓迎）

NPOおたがいさま会議
それぞれが抱える課題を共有し、互いに過不足を補い合おう
(ZOOMによる開催・参加自由)

コーディネーター（5/29現在・50音順）
栗田暢之（レスキューストックヤード）
小池達也（フリーランス/NPO支援者）
関口威人（なごやメディア研究会）
根岸恵子（こどもNPO）
萩原喜之（三河の山里コミュニティパワー）
濱野剣（日本福祉協議機構）

【協力】 愛知県・名古屋市
愛知県社協・名古屋市社協

事務局:レスキューストックヤード
日本福祉協議機構

「NPOおたがいさま会議」実施状況

- NPOおたがいさま会議
毎週火曜日16～17時@ZOOM（参加はどなたでも）→議事メモ公開<https://rsy-nagoya.com/rsy/blog/2020/05/npo-otagaisama-kaigi01.html>
- NPOおたがいさま会議・コア会議
毎週金曜日15～16時@ZOOMまたはリアル（愛知県・名古屋市・愛知県社協・名古屋市社協・コーディネーター・事務局）

	参加	前回課題	課題提起①	課題提起②	課題提起③	情報提供
第1回／0519	58団体・71名	（栗田挨拶）	子どもNPO・地域共助 休校で居場所喪失・家庭の課題が見えづらい	2HN・食糧支援 昨年比1.7倍・食糧支援も減った・V活動休止	VNS・NPOアンケート 活動中止・財政逼迫・対象者の孤立孤独懸念	RSY・災害時の避難生活
第2回／0526	44団体・50名	ボランティア保険（県社協・市社協）	ボラみみ・NPOおよび現場の実状 食・職・場の喪失・専門分野協働の支援C必要	JWCO・福祉の現場対応 感染防止対応でスタッフ疲労困憊・第2波懸念	—	林司法書士・支援制度 市社協・緊急貸付
第3回／0602	33団体・36名	ボランティア活動指針（名古屋市・市社協）	のわみ相談所・生活困窮 ホームレス急増・女性の相談増・シェルター	—	—	VNS・休眠預金の最新情報
第4回／0609	31団体・40名	過去3回の会議を経た会議の方向性について	多文化共生東海・外国人 母国に戻れず、支援制度など情報不足、失業	まなびや@KYUBAN・外国人 食の緊急支援から就業まで一貫した対応必要	—	RSY・災害ボランティア・NPOの対応
第5回／0616		のわみ相談所への支援の可能性（萩原・RSY）	徳林寺・外国人	—	—	小池・「新型コロナNPO情報共有会」報告
第6回／0623 （案）		（未定）	仕事暮らし自立サポートセンター・生活困窮	緊急小口資金特例貸付・生活困窮	—	

毎週火曜日「おたがいさま会議」

- 16:00-16:10 チェックイン・前回のふりかえり
- 16:10-16:50 困りごと・応援できること
- 16:50-16:55 情報共有
- 16:55-17:00 チェックアウト

毎週金曜日「会議」

前回のふりかえり・課題討議

マッチング
アウトリーチ
情報整理
など

N P O

お た が い
さ ま 会 議



青木 研輔@ボランティア...



栗田@RSY



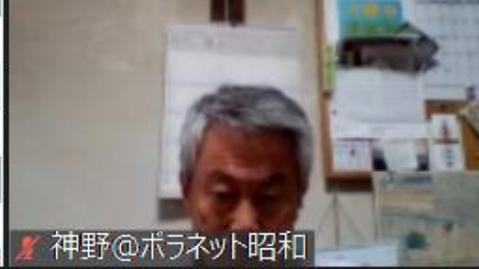
星野@日本福祉協議...



小池@進行



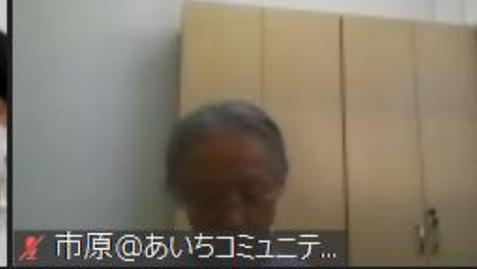
岡田@みどり災害v



神野@ポラネット昭和



増田・斎藤@名古屋市



市原@あいちコミュニテ...



野川@名古屋市社会...



岡田 @あいち防災リー...



椿佳代@災害ボランテ...



濱野@日本福祉



根岸@こどもN P O



渡邊@地域福祉部



浦野@レスキュースト...



平沼@リバイブ



浜田@RSY



内輪@愛知同友会



織田@ポラみみ



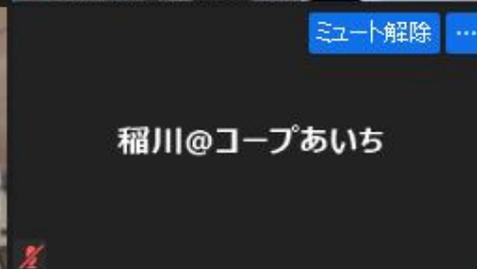
小塚@子ども食堂



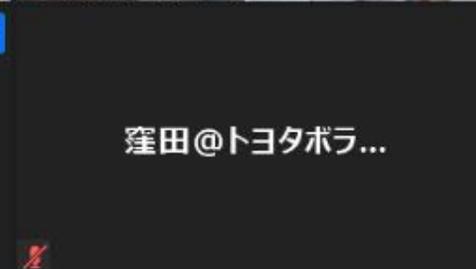
伊藤@みなみ災ボラ



はぎわらMYパワー



稲川@コープあいち



窪田@トヨタボラ...

ミュート解除 ...

NPO 活動継続へ一丸

情報共有団体 愛知で発足へ

新型コロナウイルスでNPOの活動にも支障が出ており、愛知県内で団体同士が情報やリソース(資源)を共有して支え合うネットワーク「NPOおたがいさま会議」が発足する。全国初とみられ、関心を集めそうだった。コロナ禍でNPOが支援する社会的弱者に影響が広がる一方、弱者向けの寄付が減るなど活動は低下。運営面でも資金繰りに不安を抱く団体が増えている。危機感を持った災害支援の認定NPO法人「レスキューストックヤード」(名古屋市の栗田暢之代表理事らが呼び掛けた。

十九日にもオンラインで初の会議を開催。互いの苦境を共有して相互支援の道を探るほか、災害が発生した場合の協力態勢の構築も目指す。公的助成制度や感染症対策の勉強会も開く。

当面、会議はオンラインとなるため多数の参加は難しく、対象は主に愛知県内のNPOとする。一方、協力団体として同県や名古屋市などの参加が決まり、企業などにも呼び掛ける。

栗田さんは「NPOがだめになれば、社会の多くの課題が放置されてしまう。互いの過不足を補い、課題解決を図るため知恵を出し合いたい」と話している。(大森雅弥)

中日新聞

2020年5月7日

そこで、レスキューストックヤードが被災地支援で実践している「情報共有会議」の手法を活かし、愛知県を拠点にするNPOや行政が集い、コロナ禍での課題を共有、解決に向けて話し合う「NPOおたがいさま会議」を立ち上げました。

5月19日に第1回を実施し58団体71人が参加、26日の第2回会議には44団体50人が参加しました。

BuzzFeedNews

2020年6月3日

あなたの家の備えは大丈夫？

「コロナ禍で災害が起こったら…」

今、知っておくべきことは

<https://www.buzzfeed.com/jp/sumirekotomita/corona-disaster-rescue-stock-yard>



NPOおたがいさま会議の様子
レスキューストックヤード提供

NPOおたがいさま会議・3週の議論を通じて
～0605コア会議での協議より

学んだこと・課題

- コロナ禍により、生活困窮者、子ども、女性、外国人などの社会的弱者の個々の課題を見えにくくし、さらに追い詰めている。
- 現在の国などからの支援だけで十分対応できたとは言い難い。緊急的な「食」だけでなく、「居場所」や「住」の課題が深刻化し、非正規の解雇といった「職」の課題が懸念されている。
- NPOはボランティア活動を止めざるを得ない状況にあり、いつからどんな点に留意して活動を進めればいいのか迷っている。
- 第2波を見据え、長期的な「withコロナ」への対応が必要である。
- NPOおたがいさま会議で達成したい目標を明確化すべきである。

今後のこと・当面の目標

- ① もっと現場の声を聴く機能の強化（聴きに行くことも大切）→声を届けてください
- ② 集まった声をまとめ「見える化」する機能（事務局を強化させます）
- ③ それらの声に対して応援・支援するマッチング機能→小さな実績でも地道に積み重ねていきましょう。
- ④ さらなる課題解決に向けたアドボカシー的機能（愛知県・名古屋市からも当該各部局にさらにお伝えいただきます）
- ⑤ これらを実現するための事務局機能の強化（人材・財源確保）と役割分担→コーディネータへの参画や人・資金のご協力を！